

# 吹奏楽指導者育成塾2024「指揮法編」

## 第4回

今回は、いつも練習のお手伝いに伺っている中学校がコンクールで取り上げる作品を題材に指揮法のアドバイスをいたします。

まずはスコアを見つつ音源を聞いてみましょう。

[「心は清流にせせらぐ」\(スコア\)](#)

[音源「心は清流にせせらぐ」](#)

10名ほどから演奏できる小編成の作品ですが、とても魅力的なメロディの作品だと感じました。

構成は シンプルな3部構成を少し変化させてあります。この変化が「せせらぎ」のように感じられます。

キーポイントは 拍子の変化です。

楽器の数がすくないだけに、拍子の変化による音楽の様式(ノリ)が変化することで曲の音楽的な内容が一層充実して感じられます。

それに「音色」の変化を加えられればとても魅力的です。

### ①オープニング 1～14 FIとASaxのソリ

4拍子ですが、少し「自由な」雰囲気を出したいところです。ある程度アゴーギグを使いながら、三連符が「ゆらぎ」を生み出してくれます。

揺らいでいるのは「心」でしょうか、それとも「水面」でしょうか。

### ②A 15～19 ブリッジ

B へのつなぎ。少し張り詰める緊張感を感じます。18小節目のFIの16分音符、mf、pfとVibのmfはそれを演出する大切な要素です。

 IMG\_9115.MOV Aの入り

### ③B～「A」セクション

#### 参考動画(Bの入り)

 IMG\_9117.MOV B～

2拍子 でmf はマーチのような快活さです。ただ、3／8や3／4があることで、岩によって流れが変わる雰囲気を感じます。

この拍子による重心の変化を、指揮者もしっかりと出したいです。

C～「A」-2 セクション

ヴァリエーション それまでの要素と新しい要素が加わって、なかなか忙しい雰囲気になってきます。

Eでは急にmpになったり、ダイナミクスの急激な変化がスリリングな川の流れを想起させます。

G は「A」セクションの 小結尾部

fで「A」セクションのメロディが再現されて終結します。

#### ④ブリッジ H～

冒頭のソリ、3連符を使って「揺らぎ」を表現しています。

 IMG\_9118.MOV H～

⑤中間部 I～ 4拍子 ゆったりとした美しいメロディです。

J に向かってテンポ、ダイナミクスを変化させて盛り上がります。

K 中間部の頂点

K～ Lへ向かう「ブリッジ」

124・125 決然と「ファンファーレ」が奏でられて、「A」セクションに戻ります。

 IMG\_9119.MOV Lに入る部分

 IMG\_9120.MOV Lに入る部分2

⑥再現部 「A」セクション (A・B・A 三部構成) ただし、Mからブリッジ、139～ヴァリエーションとなる。

 IMG\_9121.MOV L

- |     |                      |                      |                        |
|-----|----------------------|----------------------|------------------------|
| 第1回 | <a href="#">レジュメ</a> | <a href="#">資料映像</a> | <a href="#">講義記録動画</a> |
| 第2回 | <a href="#">レジュメ</a> | <a href="#">資料映像</a> | <a href="#">講義記録動画</a> |
| 第3回 | <a href="#">レジュメ</a> | <a href="#">資料映像</a> | <a href="#">講義記録動画</a> |
| 第4回 | <a href="#">レジュメ</a> |                      | <a href="#">講義記録動画</a> |

